

共催セミナー8

# COVID-19に関する消毒薬と ワクチン接種への 薬剤師としての関わり

座長

伊東 弘樹 先生

国立大学法人大分大学医学部附属病院  
副病院長・医学部教授・薬剤部長

講師

潮平 英郎 先生

国立大学法人琉球大学病院薬剤部  
薬剤部長補佐

Web開催  
(Zoom)

2021年7月25日(日)  
11:30~12:30

共催

医療薬学フォーラム2021 / 第29回クリニカルファーマシーシンポジウム  
日医工株式会社

<https://cps2021.org/>

# COVID-19に関する消毒薬とワクチン接種への 薬剤師としての関わり

国立大学法人琉球大学病院薬剤部 薬剤部長補佐  
**潮平 英郎** 先生

2019年12月, 中華人民共和国湖北省武漢市において, 原因となる病原体が特定されていない肺炎の発生が複数報告されたことを端緒に新型コロナウイルス感染症 ( Coronavirus Disease 2019:COVID-19 ) が世界的大流行 (パンデミック) している。病原体である severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 (SARS-CoV-2) は, エンベロープを有するウイルスであることから, 医療現場で汎用されるアルコール消毒薬が有効とされる。このSARS-CoV-2の感染経路としては, 接触・飛沫感染経路が主とされ, 条件によりエアロゾル発生による空気感染の可能性が指摘されている。医療現場における COVID-19 に対する感染対策には, いわゆる3密 (密閉, 密集, 密接) を避けるという対策に加えて, 標準予防策, 飛沫予防策, 接触予防策の徹底が求められる。これらの感染対策に用いられる医薬品として, 消毒薬がある。COVID-19 が国内で広がりを見せ始めた当初, 琉球大学病院 (当院) では消毒薬の急激な需要の高まりにより入手困難となり, 院内製剤として手指消毒用エタノールの調製を行った。

2021年3月には沖縄県における新型コロナウイルスワクチン接種が, 医療従事者に対する優先接種を皮切りに開始された。当院においても, 接種開始時より薬剤師がワクチン管理および調製に関与している。この経験をもとに, 演者らは沖縄県薬剤師会において, 地域住民へのワクチン接種に協力する薬剤師を対象としたワクチン管理・調製の教育を行ってきた。

本講演では, COVID-19 感染対策において, 現在推奨される消毒薬とその適正使用, 当院における院内製剤調製事例の紹介, そしてワクチン接種への関わりなど, コロナ禍における薬剤師としての活動と最近の指針やエビデンスを紹介したい。